



あつま

3月定例会号

No. 174

平成31年4月発行

議会だより



ピカピカの1年生 (上厚真小学校入学式)

第1回定例会・補正予算、第1回臨時会	2～5
平成31年度予算を認定	6～9
委員会活動レポート	
総務文教常任委員会	10
産業建設常任委員会	11～12
一般質問「ここが聞きたい」伊藤富志夫、吉岡茂樹、下司義之 3氏が問う	13～15
議決案件（賛否状況）	16～17
議会のうごき、文化活動団体紹介(囲碁同好会)	18



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

3月定例会

第1回定例会を3月11日から19日まで8日間（土・日を除く）の日程で開催し、町長の施政方針および行政報告、教育長の教育行政執行方針、3人の議員による一般質問のほか、議案27件、同意1件、承認2件などを審議しました。また、会期中に予算審査特別委員会が開催され、審議の結果、全会一致で可決しました。（予算については6〜9ページに掲載）

同意第1号 厚真町監査委員の選任

次の者を、厚真町監査委員に選任することに同意した。
再任 佐藤公博 氏

議案第12号〜18号 条例等の制定・廃止および一部改正

次の条例の制定・廃止および一部改正について可決した。

■条例の制定

- 厚真町森林環境譲与税基金条例の制定（議案第12号）
- 厚真放課後子どもセンター1条例の制定（議案第13号）

■条例の廃止

- 厚真町高齢者生活自立支援センター設置条例の廃止（議案第14号）

■条例の一部改正

- 厚真町職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正（議案第15号）
- 厚真町ふるさと応援基金条例の一部改正（議案第16号）
- 厚真町税条例の一部改正（議案第17号）
- 厚真町国民健康保険条例の一部改正（議案第18号）

議案第19号 工事請負契約の締結

次のとおり、工事請負契約を締結した。

- 工事名
厚真処理区汚水1号幹線系統災害復旧工事
- 契約の方法
指名競争入札
- 契約金額
1億4515万円
- 契約の相手方
森田・菱中復旧・復興建設工事共同企業体

議案第20号 工事請負契約の締結

次のとおり、工事請負契約を締結した。

- 工事名
厚真処理区汚水2号幹線系統外災害復旧工事
- 契約の方法
指名競争入札
- 契約金額
2億1060万円
- 契約の相手方
北海土建・丸斗特定建設工事共同企業体

議案第21号 工事請負契約の締結

次のとおり、工事請負契約を締結した。

- 工事名
厚真処理区汚水3号幹線系統外災害復旧工事
- 契約の方法
指名競争入札
- 契約金額
1億4310万円
- 契約の相手方
丸博野沢・盛興復旧・復興建設工事共同企業体

承認第1〜2号 専決処分承認

平成30年北海道胆振東部地震に伴う復旧費の支出のため、次のとおり専決処分を承認した。

- 平成30年度厚真町一般会計補正予算（第16号）
- 災害等廃棄物処理事業
被災家屋等解体撤去廃棄物仮置場管理委託料
予算額 1185万円

承認第1〜2号 専決処分承認

平成30年北海道胆振東部地震に伴う復旧費の支出のため、次のとおり専決処分を承認した。

- 平成30年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）
- 簡易水道施設災害応急事業
修繕料
予算額 3010万円



平成30年度補正予算

※補正予算、繰越明許費とも万円以下切り捨てて記載しています。

林業・木材産業構造改革事業(胆振東部地震)

補正額 3030万円
事業予算額 3030万円
産業経済課農林業G

被災林業・林産業者向け支援事業補助金

財源内訳

国・道支出金 2630万円
町の財源 400万円

道路橋梁災害復旧事業(公共災)単独災含む

補正額 1億2000万円
事業予算額 21億6238万円
建設課土木G

北海道胆振東部地震により被災した町道および橋梁の早期復旧を図る。

財源内訳

国支出金 6196万円
地方債 2420万円
町の財源 8960万円

河川災害復旧事業(公共災)単独災含む

補正額 16億4010万円
事業予算額 29億7450万円
建設課土木G

北海道胆振東部地震により被災した河川の早期復旧を図る。

財源内訳

国支出金 14億5189万円
地方債 1億8610万円
町の財源 211万円

宅地堆積土砂排除事業(胆振東部地震補助)

補正額 2億1132万円
事業予算額 2億1132万円
建設課土木G

北海道胆振東部地震による地滑りで宅地等に堆積した土砂の2次の移動による被害拡大防止の公益性の観点から、町が事業主体となり排除する。

財源内訳

国支出金 1億4365万円
地方債 2780万円
町の財源 3987万円

災害等廃棄物処理事業

補正額 15億9960万円
事業予算額 22億8946万円
町民福祉課町民生活G

北海道胆振東部地震に伴い、厚真町が実施する被災等廃棄物の処理等について、環境省災害等廃棄物処理事業として実施。

財源内訳

国・道支出金 7億480万円
地方債 1億4090万円
町の財源 7億5390万円

半壊家屋解体費補助事業

補正額 2130万円
事業予算額 3360万円
町民福祉課町民生活G

北海道胆振東部地震に伴い、厚真町に被災家屋等解体申請をした半壊(大規模半壊を含む)家屋の解体費用(国庫補助対象外)の2分の1について補助する。

財源内訳

町の財源 2130万円

公立学校施設災害復旧事業

補正額 4800万円
事業予算額 2億2048万円
建設課土木G

北海道胆振東部地震により被災した厚真中学校グラウンドの災害復旧。

財源内訳

国支出金 4320万円
地方債 480万円

公園災害復旧事業(公共災)単独災含む

補正額 1480万円
事業予算額 5510万円
建設課土木G

北海道胆振東部地震により被災した公園の早期復旧を図る。

財源内訳

国支出金 1460万円
地方債 △730万円
町の財源 750万円

平成30年度補正予算（繰越明許費）

繰越明許費補正（追加分）

総務費	復旧・復興計画策定事業（胆振東部地震）	4 5 0 0 万円
衛生費	半壊家屋解体費補助事業	3 3 6 0 万円
農林水産業費	特産果実再生支援事業（胆振東部地震）	3 1 0 万円
	豊共第2地区道営ほ場施設整備事業	3 1 2 5 万円
	幌内富里地区道営ほ場施設整備事業	1 1 4 0 万円
	大型開発跡地整備運営事業	8 2 0 万円
	林業・木材産業構造改革事業（胆振東部地震）	2 1 5 0 万円
土木費	安全・安心省エネ住宅推進事業	1 億 5 0 0 0 万円
	住宅再建融資利子助成事業（胆振東部地震）	2 0 0 0 万円
	住宅復旧支援事業（胆振東部地震）	8 0 0 0 万円
	民間賃貸共同住宅等建設推進事業	9 7 0 万円
	都市計画マスタープラン改訂事業	2 4 3 万円
	分譲住宅管理事業	6 0 0 万円
	宅地耐震化推進事業（胆振東部地震）	1 億 5 2 0 0 万円
消防費	住宅応急修理事業	3 2 0 0 万円
災害復旧費	交流促進センター災害復旧事業	8 7 4 万円
	道路橋梁災害復旧事業（公共災）	1 5 億 8 0 0 万円
	道路橋梁災害復旧事業（単独災）	1 7 1 9 万円
	河川災害復旧事業（公共災）	2 2 億 8 5 4 0 万円
	公園災害復旧事業（公共災）	3 7 3 7 万円
	宅地堆積土砂排除事業（胆振東部地震補助）	1 億 7 1 5 0 万円
	簡易水道施設災害復旧事業	2 9 5 0 万円

繰越明許費補正（変更分）

衛生費	災害等廃棄物処理事業	2 1 億 5 0 9 8 万円
災害復旧費	農業施設等災害復旧事業	1 0 億 3 5 9 0 万円
	公立学校施設災害復旧事業	1 億 2 4 1 2 万円

繰越明許費補正（起債廃止分）

- ・古民家再生推進事業（限度額） 2 6 0 0 万円（理由）災害により事業の実施ができなかったため。
- ・都市防災総合推進事業（限度額） 2 3 5 0 万円（理由）適債性がなかったため。
- ・被災農業者向け
経営体育成支援事業（限度額） 4 億 9 3 7 0 万円（理由）適債性がなかったため。

第1回臨時会

第1回臨時会が2月1日に開催され、条例の一部改正、工事請負契約の締結、専決処分の承認および補正予算について審議した。

※金額については、千円以下切り捨てて記載しています。

■厚真町職員定数条例の一部改正

胆振東部地震の災害復旧事業の長期化およびこども園の体制強化が見込まれ、現行の職員数では行政運営に支障が生じることから、必要職員を確保し、震災からの復旧・復興を最優先するため、職員定数を、当分の間、現在の110人から125人とする。

■工事請負契約の締結

【平成30年災第452号 普通河川本郷の沢災害復旧工事】

○契約の方法

指名競争入札

○契約金額 8380万円

○契約の相手方

森田・曾我経常建設共同企業体

【平成30年災第524号 準用河川チケツペ川災害復旧工事】

○契約の方法

指名競争入札

○契約金額 8316万円

○契約の相手方

北辰・沼田経常建設共同企業体

【平成30年災第531号 準用河川ハビウ川災害復旧工事】

○契約の方法

指名競争入札

○契約金額 5594万円

○契約の相手方

木本・佐藤経常建設共同企業体

【平成30年災第639号 町道学園通り線災害復旧工事】

○契約の方法

指名競争入札

○契約金額 5389万円

○契約の相手方

山岡・厚信経常建設共同企業体

■土地改良事業の災害復旧

北海道胆振東部地震で被害を受けた農用地の災害復旧工事。

○応急工事計画（厚真地区）

・田（7力所） 4147万円

・畑（14力所） 2億3668万円

・合計（21力所） 2億7815万円

【専決処分の承認】

町長が専決処分を行った平成30年度各会計補正予算等について、報告を承認した。

■平成30年度一般会計補正予算（第12号）

胆振東部地震に伴う応急・復旧費等の支出のため1億2236万円が追加され、歳入歳出の総額が156億4873万円となった。

【繰越明許費】

○災害等廃棄物処理事業 1億2236万円

・家屋解体設計委託業務 7968万円

・住宅等解体運搬等委託業務 3億1737万円

■平成30年度一般会計補正予算（第13号）

胆振東部地震に伴う応急・復旧費等の支出のため4179万円が追加され、歳入歳出の総額が156億9053万円となった。

【補正された事業】

○災害等廃棄物処理事業 4179万円

○宅地堆積土砂排除事業（胆振東部地震補助） 672万円

○林業施設災害復旧事業 4億6800万円

○道路橋梁災害復旧事業（単独災） 6100万円

○河川災害復旧事業（単独災） 3900万円

○公営住宅等災害応急事業 160万円

【主な繰越明許費補正】

○被災農業者向け経営体育成支援事業 34億2202万円

○農業施設災害復旧事業 2388万円

○林業施設災害復旧事業 4億6772万円

○公立学校施設災害復旧事業 460万円

・厚真中央小学校敷地内外構復旧工事

・学校給食センター・電気昇温貯湯槽復旧工事 2322万円

■平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）

【繰越明許費】

○統合簡易水道事業 4272万円

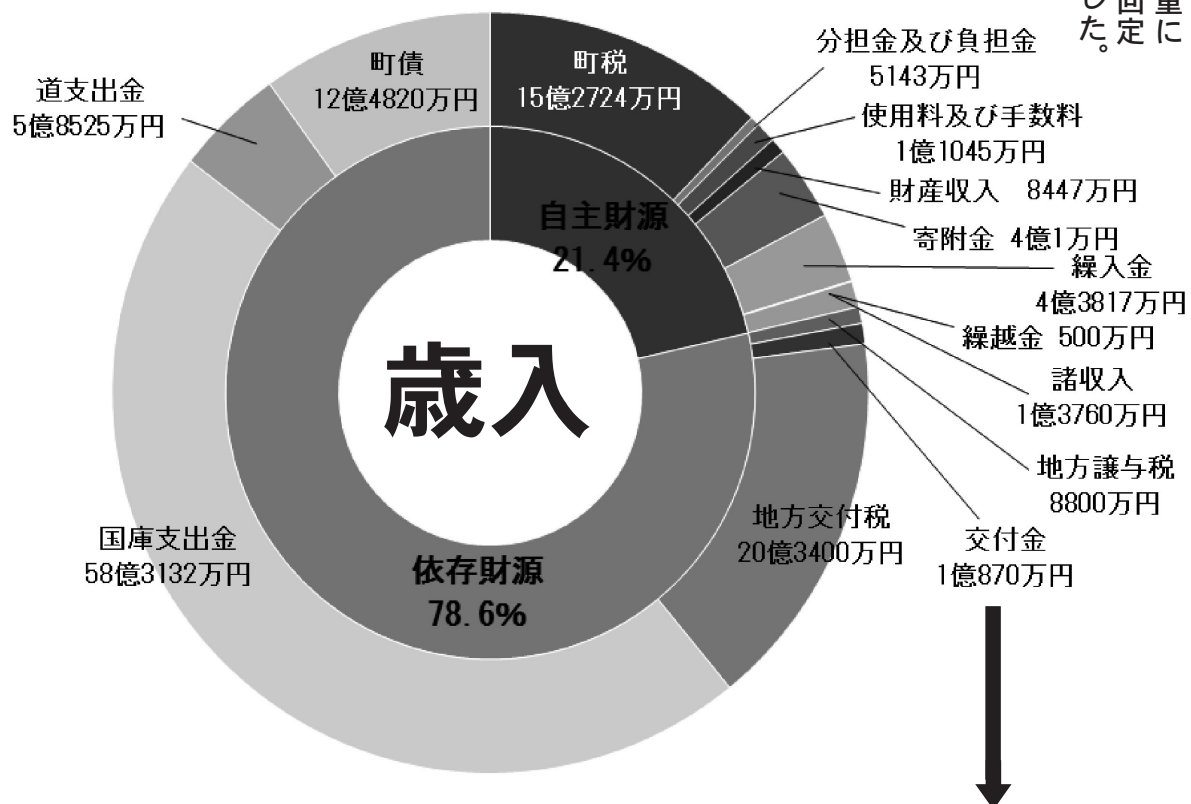
■平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算（第6号）

【繰越明許費】

○下水道施設災害復旧事業 5億2460万円

平成31年度予算

平成31年度各会計歳入歳出予算は、3月13日～18日の5日間、予算審査特別委員会（井上次男委員長）で慎重に審査を行い、3月19日開催の第1回定例会において全会一致で可決しました。



【別表】 交付金（内訳）

交付金	利子割交付金	50 万円
	配当割交付金	120 万円
	株式等譲渡所得割交付金	100 万円
	地方消費税交付金	9,000 万円
	自動車取得税交付金	1,400 万円
	地方特例交付金	100 万円
	交通安全対策特別交付金	100 万円
	合計	1 億 870 万円

（予算内容）

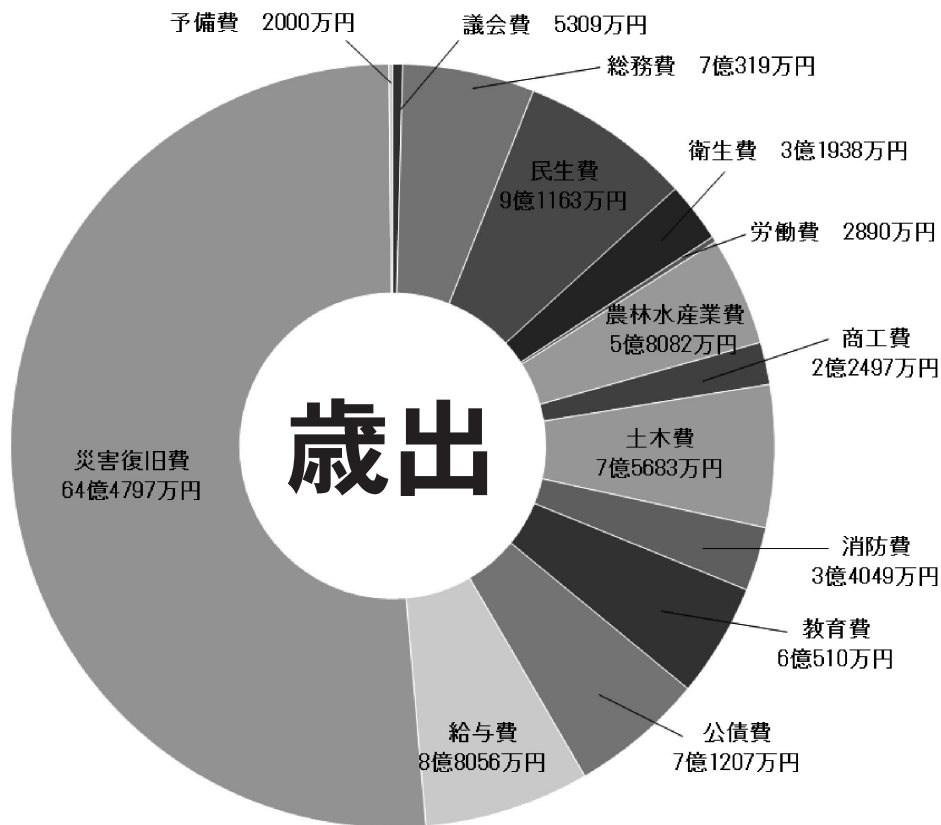
今年度の予算額は、一般会計・特別会計総額で158億8480万円と、前年度当初予算より約78億円増（+96.2%）の予算が計上されました。

一般会計は、北海道胆振東部地震に係る災害復旧事業や、災害復旧事業およびこども園の体制強化に伴う職員の増員による給与費の増により予算が皆増し、前年度比110.9%増の125億8500万円となりました。

また、特別会計は、簡易水道事業等の増加により前年度比54.9%増の32億9980万円となりました。

各会計総予算 158 億 8480 万円

一般会計総額 125 億 8500 万円（前年度比+ 110.9%）



特別会計総額 32 億 9980 万円（前年度比+ 54.9%）

会計名	予算額	対前年度比(%)	
国民健康保険事業	5 億 7350 万円	2.1	
後期高齢者医療	8610 万円	2.3	
介護保険事業	保険事業	5 億 4020 万円	0.9
	介護サービス	2600 万円	△ 1.1
簡易水道事業	18 億 6800 万円	159.4	
公共下水道事業	2 億 600 万円	2.0	

基本目標・施策に基づく主な予算

「人が輝くあつま」	子育て、学校教育、社会教育等の充実、生涯スポーツの振興	8 億 5254 万円
「健やかで安心なあつま」	高齢者福祉・介護・社会福祉・障がい者福祉・保健・医療の充実	30 億 326 万円
「みのり豊かなあつま」	農業・林業・水産業の振興、観光・交流のまちづくりの推進	7 億 9519 万円
「快適に暮らせるあつま」	都市基盤の充実、環境保全の推進、消防・防災の強化、防犯・交通安全対策の強化	13 億 2929 万円
「みんなで支えるあつま」	住民自治の推進、健全な行政運営の推進	13 億 3028 万円
「災害復旧・復興」	復旧事業・災害関連	80 億 1985 万円

平成31年度主要な新規事業予算(抜粋)

森林環境譲与税基金費

事業予算額 1000万円

産業経済課農林業G

温室効果ガスの排出量の削減や災害防止等を図るため、平成31年度より国から地方に譲与される森林環境譲与税を全額基金に積立て、私有林の間伐や担い手の確保、木材利用の促進などといった用途を明確にした上で、事業費を基金から充当し、地域の森林整備等の推進を図る。

財源内訳

その他の財源(森林環境譲与税)

1000万円

豊川共和線道路整備事業

事業予算額 5000万円

建設課土木G

老朽化が進む道路および付帯施設に、点検結果をもとに予防的な施設管理を講じることで、安全・安心な道路網を確保する。

財源内訳

国庫支出金 3000万円

地方債 1800万円

町の財源 200万円

仮設住宅自立相談支援事業

事業予算額 1213万円

町民福祉課福祉G

胆振東部地震により仮設住宅等に居住する住民に対し、生活支援や見守り支援事業を行う。

財源内訳

道支出金 600万円

町の財源 613万円

がけ地近接等危険住宅移転事業

事業予算額 1644万円

建設課建設住宅G

がけ崩壊による危険が著しいため、区域にある既存不適格住宅等で移転事業を行う。

財源内訳

国庫支出金 822万円

道支出金 411万円

町の財源 411万円

上厚真小学校プール整備事業

事業予算額 1億4166万円

生涯学習課学校教育G

昭和45年に建築した上厚真小学校プールが老朽化したため、校地内に新設する。

財源内訳

国庫支出金 4383万円

地方債 9760万円

町の財源 23万円

飲用井戸等給水施設整備事業

事業予算額 1512万円

町民福祉課町民生活G

地震発災以降、町民が飲用井戸等を整備する費用の一部を助成することにより、その負担を軽減するとともに、安全で安心できる飲用水等の安全確保を図る。

財源内訳

その他の財源 1500万円

町の財源 12万円

子育て支援住宅建設事業

事業予算額 1億5988万円

建設課建設住宅G

上厚真北部地区に、町外で働く子育て世代の移住を促進し定住人口の増加を図るため、子育て支援住宅を建設する。

財源内訳

国庫支出金 6953万円

地方債 6940万円

町の財源 2095万円

住宅復旧支援事業(胆振東部地震)

事業予算額 9000万円

建設課建設住宅G

胆振東部地震により被災した住宅の早期復旧に資するため、被災者が町内で行う建物の傾斜復旧工事と、それに併せて実施する建屋下の地盤改良工事に要する費用の一部を助成する。

財源内訳

その他の財源(ふるさと応援基金繰入金)

9000万円

河川災害復旧事業（公共災・単独災）

事業予算額 21億7066万円
建設課土木G

北海道胆振東部地震により被災した河川の早期復旧を図る。

財源内訳

国庫支出金	18億7720万円
地方債	2億3560万円
町の財源	5786万円

宅地堆積土砂排除事業（胆振東部地震補助）

事業予算額 13億9235万円
建設課土木G

北海道胆振東部地震による地滑りで宅地等に堆積した土砂の2次の移動による被害拡大防止の公益的観点から町が事業主体となり排除する。

【実施予定地区】

幌内、高丘、富里、吉野、本郷、幌里地区など北部を中心に11地区を予定。

財源内訳

国庫支出金	11億4950万円
地方債	2億50万円
町の財源	4235万円

林業施設災害復旧事業

事業予算額 1億4200万円
産業経済課農林業G

北海道胆振東部地震で被災した林道の早期復旧を図る。

財源内訳

道支出金	1億4143万円
地方債	40万円
町の財源	17万円

災害公営住宅整備建設事業

事業予算額 5287万円
建設課土木G

北海道胆振東部地震により滅失した住宅に居住していた低所得者に賃貸する目的で住宅を整備する。

【整備戸数】30戸

【整備予定地区】新町地区、本郷地区

財源内訳

国庫支出金	3387万円
地方債	1680万円
町の財源	220万円

道路橋梁災害復旧事業（公共災・単独災）

事業予算額 26億7708万円
建設課土木G

北海道胆振東部地震により被災した町道および橋りょうの早期復旧を図る。

財源内訳

国庫支出金	23億400万円
地方債	3億1880万円
町の財源	5428万円

簡易水道施設災害復旧事業

事業予算額 14億3041万円
建設課上下水道G

北海道胆振東部地震により被災した、富里浄水場および簡易水道施設を整備する。

【実施事業】

- 簡易水道施設災害復旧事業
- 豊川地区配水管布設替事業
- 上厚真地区配水管布設替事業

財源内訳

国庫支出金	9億3794万円
地方債	4億6890万円
その他財源（一般会計繰入金）	2357万円

社会教育施設災害復旧事業

事業予算額 1299万円
生涯学習課社会教育G

北海道胆振東部地震により被災した、教育施設の早期復旧を図る。

財源内訳

道支出金	866万円
地方債	380万円
町の財源	53万円

住宅再建融資利子助成事業（胆振東部地震）

事業予算額 3206万円
建設課建築住宅G

北海道胆振東部地震により被災した住宅の早期復旧に資するため、被災者が町内で居住する住宅を新築または購入するために金融機関から融資を受けた場合の借入金に係る利子の一部を助成する。

財源内訳

その他の財源（ふるさと応援基金繰入金）	3206万円
---------------------	--------

委員会 レポート

総務文教常任委員会

委員会は1月18日に現地調査および事務調査を行い、その結果を第1回定例会に報告しました。
(事務調査2件、現地調査1件より抜粋)



高齢者生活自立支援センター跡

高齢者生活自立支援センターの地震による被災状況と今後の方向性について

【主な質疑】

問 富里、吉野、高丘の方が元の場所に住みたいといわれて、施設が欲しいと希望が出た場合、どのような対応になるのか。

答 幌内、高丘、吉野、富里地区の方達の大半は仮設住宅に入っておられ

る。もちろん、自宅に戻られる方もいれば、元のところには戻れない方もいるという現状もある。

将来的な方向性としては、安全な場所に住宅を再建していただくことが大原則だが、営農されている方が多数いるので、すべての人達が市街地に來られると考えるのは難しいところがある。

現在、国の補助制度等を活用して、集団移転地区として新しい住宅地を供給することも想定し、

今後、それぞれの地域の方と話し合いをしていく予定である。

問 発災前はふれあいサロンとしても使われていたが、地域の方達の意見を聞いて、地区の集会場としての必要性を検討すべきでは。

答 元に戻すことができないという考えはないが、戻られる方が少ない地区に集会施設を建てることは現実的に難しいだろうと思う。今後、移転先や戸数の再編の流れをみながら、自治会の将来の成り立ちや新たな集会所の想定などもしながら、地域の方達とよく話し合っ

て、この先の取り組みを進めていきたい。

現状としては、富里に集会施設がなく自治会からも強い要望があったので、昨年、応急的にプレハブを設置している。仮設ということで対応させていただいている。

震災により影響を受けた児童・生徒に対するケアについて

【主な質疑】

問 ケアは誰か専門の方が継続して対応しているのか。

答 担任の先生を中心に見取り、ケアが必要な児童生徒には、スクールカウンセラーがカウンセリングを行っている。

問 子ども達に関しての保護者からの相談はあるのか。

答 保護者の中にも心的に傷ついている方もいるので、子どもに関する相談だけでなく、保護者に対してスクールカウンセラーによるカウンセリングを行った事例はある。

問 震災でマスコミがたくさん入り、心的障害を受けた子ども達がいるという話を耳にしているが、過度な取材に対して子ども達が恐怖心を持ったな

ど、そういう話は聞いているか。

答 取材を受けるにあたり、プライバシーの確保についてはマスコミに伝えて配慮したつもりだが、たくさんの方のマスコミが訪れることを想定していなかった。今後、考慮していかなければならないと考えている。

問 学校に有名な方が訪問している報告があったが、どのような効果があるのか。

答 訪問の趣旨として、子ども達に笑顔になってもらったり、喜んでもらうことだと思っている。普段接することができない人達と接することにより子ども達の気持ちも少し高まったのではないかと感じている。

委員会 レポート

委員会は1月21日、現地調査および事務調査を行い、その結果を第1回定例会に報告しました。

(事務調査4件、現地調査1件より抜粋)

起業家育成支援事業 について

地方での起業を目指す起業家人材を育成することにより、地域での新規事業の立ち上げや新規雇用創出などを促進し、併せて、先進的で継続的な事業や地域経済の循環効果を創出する事業への支援を拡大することにより、地域経済活動の活性化を図ることを目的とする。

【主な質疑】

問 全体を見た時に、これだけのものが本当に出るのか。
答 5年後、10年後に厚真町で活躍してくれると思うので、大変な部分があっても頑張つてやっていきたい。
問 町民にもわかる形で事業を活用してもらいたい。
答 協議会を早急に作り、事業内容を理解していただくのが非常に重要と思つているが、地震により

中断している状況である。

問 町職員の採用試験とローカルベンチャースクールはマッチングしないと思うが。
答 昨年9月に大きな震災を受け、大幅に職員数を増やさないと災害復旧事業も乗り切れない状況である。

職員を募集するときはハローワークやホームページ等、一般的な募集サイトを使つているが、あらゆる媒体を使い職員募集を試験的にやつてみた。

問 ふるさと納税を、厚真で実績のない会社に任せたことに疑問がある。
答 プロポーザルという形をとつて、提案をしていただいた中で決定した。

あつまるカードについて

消費者サービスの向上のためIC型ポイントカードを導入し、ポイント

トカードの魅力の向上、利便性の向上を通じて町内の商店街の賑わいを取り戻すとともに、高齢者の見守りサービスおよび行政連携を目的とする。

【主な質疑】

問 加盟店と町の子育て支援関係のポイントで、なぜ差をつけたのか。
答 あつまるカード会員の皆さんの自主的な消費拡大あるいは購買を増やすサービスとして行つているもので、行政のあつまるカードに付与されるポイントとは性格が違つて、事務手数料は別に支払つている。

問 開始当初は機器の不具合があつたが、今は大丈夫か。
答 運用開始当時は慣れていないというのもあつたと思うが、最近は大きな苦情もなく、システム的にも安定していると思う。

応急仮設住宅について

災害のため自ら住居に住むことが出来なくなつた方に対して、簡易的な住居を仮設し、一時的に生活の安定を図ることを目的に建設する住宅。

【主な質疑】

問 家屋が全壊し公営住宅に入っている人がいると思うが、みなし仮設となるのか。また、家賃は通常どおり掛かるのか。
答 本来、みなし仮設住宅は民間アパートを借りてという形になる。公営住宅は避難のために入つていただいている位置付けで、家賃については1年間無料。

問 仮設住宅が29戸空いているが、当初希望していた方が入らなかつたということか。
答 今空いている仮設住宅は24戸。当初、申し込みをいただいていた方が、みなし仮設住宅へ移つた。

問 仮設住宅や町外に住んでいる方に対する町からの連絡等の対応はどうなつているか。
答 基本的には、広報関係については総務課から郵送等をしている。建設課でも、連絡先の情報を持つている。



表町公園仮設団地

問 住宅を新たに建てる
ことが出来ない方の対応
はどのようなになっている
か。

答 り災証明で全壊の判
定を受けた方が前提で入
ることが出来る、災害公
営住宅の建設を準備して
いる。

**被災農業者向け経営
体育成支援事業につ
いて**

平成30年北海道胆振東
部地震および台風21号に
より被災した農業者に対
し、経営再建と営農再開
に向け、農産物の生産に
必要な施設の修繕または
取得、農業用機械の修繕
または取得、施設の解体
・撤去に係る費用につ
いて支給する。

【主な質疑】

問 水田や畑の中に流出
している土砂については、
激甚災害のほうで撤去し
てくれるのか。

答 そのとおり。基本的
には土砂、がれきに関し

ては、農地災害復興事業
で行う。

問 がれきや土砂を撤去
した後、そこに物を建て
る・造るとなると、この
補助事業が対象になると
いう考え方で良いか。

答 災害復旧事業が完了
し、きれいになったところ
に新たに建てるための
補助金が、経営体育成事
業補助金である。

問 繰越で平成32年度ま
でということだが、万が
一遅れた場合、延長して
いく可能性はあるか。

答 基本的に、今のところ
は平成31年度で終わる
スタンスで事業を進めな
ければならないと聞いて
いる。



被害を受けた農業施設

一般質問

ここが聞きたい

住宅再建

今後の住宅再建計画と進め方は

答 丁寧な調査と懇談会開催を予定



伊藤富志夫 議員

〔住宅再建支援制度についてのアンケート〕結果（建築・住宅グループ資料より転用）

アンケート項目 り災区分	アンケート発送	アンケート回答	住宅再建の意向									金融機関からの借入れの意向			基礎傾斜・地盤復旧意向		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3
			建替え(同住所)	建替え(別住所)	住宅購入	補修する	公営住宅・民間住宅等	住宅再建の用途が立たない	補修しない	その他	回答不要・未回答	予定している	予定していない	回答不要・未回答	必要としている	必要としていない	回答不要・未回答
全壊	173	95	18	7	0	15	30	0	0	4	21	17	38	40	20	21	54
大規模半壊	45	29	3	0	0	22	3	0	0	0	1	6	19	4	10	10	9
半壊	170	107	8	5	1	66	4	4	8	10	1	21	64	22	37	32	38
未回答	0	1				1							1			1	
合計	388	232	29	12	1	104	37	4	8	14	23	44	122	66	67	64	101

問 住宅再建制度についてのアンケートでは、公営住宅等への希望が37件、住宅の基礎傾斜修復、地盤改良工事等の必要を願う人が67人いる。今後の災害公営住宅や公営住宅等の建設計画、

新町等の土地改良工事計画はどうなっているか
町長 丁寧な調査をした上で、最終的には災害公営住宅の準備をし、入居基準に満たさない人については、公営住宅あるいは民間賃貸住宅等への検討をする。4月中旬に意向調査をし、日程・計画・制度的なものはガイドブックで知らせているが、すべての地区を回り、丁寧な説明をしていきたい。
基礎の傾斜修復は、補助事業を32年度の3年間支援していく。新町地区は、地盤調査をして対策を明確にし、その他の地区も専門家に調査を依頼し検討していきたい。

児童生徒の心のケア

中長期的な視野を入れた取り組みを

答 先進県の事例を参考に取り組みたい

問 地震後半が過ぎ、児童生徒の心の問題についてはどんな状況か。また、先進地の事例を

学び、現場で活用してはどうか。さらに、専門職員の配置やスクールカウンセラーの継続支援はどうか。
31年度の新規事業では被災地教育の推進事業を、また、スクールサポートスタッフの配置や災害加配教員について、各小・中学校1人ずつの配置を予定している。

教育長 震災後6カ月が過ぎ、落ち着きを取り戻しつつあったが、先の余震の影響で情緒不安定や体調不良になる生徒もいて、ケアに改めて長い時間がかかることを再認識した。
心のケアの取り組みは、スクールカウンセラーが定期訪問をし、保護者を



農業振興

枯渇した農業用井戸の復旧について

答 未給水区域を対象に予算化する

吉岡茂樹 議員

問 震災により枯渇、水量の減少または土砂の流入により使用できなくなった農業用井戸については、水稲の育苗・施設園芸用のかん水・畜産の飲用等で農業者個々が所有管理してきたが、震災で地層の変化により使用できないものがみられた。昨年10月の被害状況対応で取りまとめを行い、対応された農業者もいるが、その後に異常が見つかった施設等を、全町対象にした農業者に対する対応は。

町長 国の被災農業者向け経営体育成支援事業で13件の事業申請を受け対応している。この事業は給水区域、未給水区域の区分がなく取りまとめを行った。今後、町単独で給水区域外の被災井戸についての新設に対して対応していく。

こぼしたものに對してどこまで支援できるのかを、農業者の皆さんとも議論を重ねていかなければならない。



枯渇した農業用井戸

一般質問

ここが聞きたい

宅地供給

市街地周辺宅地および住宅供給は

答 計画をしている



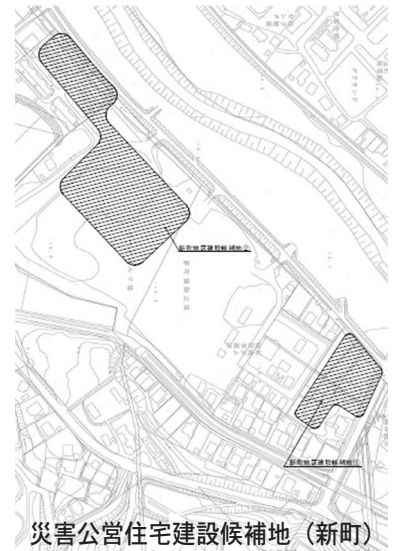
下司義之 議員

問 現在、厚真町では市街地を中心に優良な土地は高度に利用され、本来宅地でない公園用地等も活用しながら住宅用地の供給を行っている。
今後、移住や仮設住宅からの住み替え等、土地の供給が必要になると思われるが、市街地周辺を

希望される方が多い。宅地および住宅供給に対する町長の考えは。

町長 被災された方は、当然基本的に自分たちが住み慣れた場所で自力再建をしたいというのが基本だと思う。

ただ、住宅環境、被災地の状況を鑑みて、やむなく移転をすることも選択肢の一つになる方もいると思う。そういった方々に対して、基本は町としてしっかりと一団の土地を用意し、宅地を造成して分譲する計画をしていて、既に北部山間地、豊沢地区および仮設住宅に入居されている方には説明が終わっている。



災害公営住宅建設候補地（新町）

通信環境の改善

上厚真周辺のブロードバンド化および携帯電話不通区域の解消は

答 上厚真は市街地がやっと、携帯電話は強く働きかける

問 町長施政方針、地域情報化の推進で、上厚真市街のブロードバンドサービスとあるが、周辺へのIRU導入の考えは。

また、今回災害時に携帯電話のSNSなどが有効に機能したが、フォーラム、ルーラル地域は携帯電話事業者によっては電波の弱い場所がある。通信環境改善に強い働きかけをできないか。

町長（上厚真地区は）あくまで民間がサービスを展開するにあたって、採算が合うかどうかという前提がある。厚真地区に光サービスが導入された時も、上厚真地区は対象にならず、ADSLの導入となった。

今回、災害時に高速通信網がどれだけ重要か体験し、総務大臣にも直接お願いしたところ、上厚真市街をブロードバンド化することとなった。

携帯電話の基地局拡大は、今回の被災を受けて、

三大キャリアに要望を強める。

（こんな質問もしました）

問 ATSUMA LIVERSの取り組みは。

答 震災を機に見直し、関係人口の取り込みの内容を変更した。

問 職員採用にローカルベンチャースクール受講を義務付けた意図は。

答 職員採用に応募が少なく、ローカルベンチャースクールの制度を活用して募集することとした。

問 町長施政方針への質問

「項目のみ記載」

①ソサイエティ5・0を見込んだ施策は。

②災害遺構の整備計画とは。

③国・道の商業施策活用に伴う町の支援制度は。

④庁舎および周辺環境整備の再検討とは。

定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

第1回臨時議会 平成31年2月1日（金）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町職員定数条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	平成30年災第452号普通河川本郷の沢川災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第3号	平成30年災第524号準用河川チケッペ川災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第4号	平成30年災第531号準用河川ハビウ川災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第5号	平成30年災第639号町道学園通り線災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第11号	北海道市町村総合事務組合規約の制定並びに廃止	賛成全員
議案第12号	土地改良事業の災害復旧	賛成全員
承認第1号	専決処分の承認(平成30年度厚真町一般会計補正予算(第5号追加))	賛成全員
承認第2号	専決処分の承認(平成30年度厚真町一般会計補正予算(第12号))	賛成全員
承認第3号	専決処分の承認(平成30年度厚真町一般会計補正予算(第13号))	賛成全員
承認第4号	専決処分の承認(平成30年度厚真町一般会計補正予算(第14号))	賛成全員
議案第6号	平成30年度厚真町一般会計補正予算(第15号)	賛成全員
議案第7号	平成30年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	賛成全員
議案第8号	平成30年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定補正予算(第5号))	賛成全員
議案第9号	平成30年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	賛成全員
議案第10号	平成30年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算(第6号)	賛成全員
報告第1号	専決処分の報告(損害賠償額の決定)	—

第1回定例議会（第1号） 平成31年3月11日（月）

議案番号	議 件 名	賛 否
同意第1号	厚真町監査委員の選任	賛成全員
議案第12号	厚真町森林環境譲与税基金条例の制定	賛成全員
議案第13号	厚真放課後子どもセンター条例の制定	賛成全員
議案第14号	厚真町高齢者生活自立支援センター設置条例の廃止	賛成全員
議案第15号	厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第16号	厚真町ふるさと応援基金条例の一部改正	賛成全員
議案第17号	厚真町税条例の一部改正	賛成全員
議案第18号	厚真町国民健康保険条例の一部改正	承認全員
議案第19号	厚真処理区汚水1号幹線系統災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第20号	厚真処理区汚水2号幹線系統外災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
議案第21号	厚真処理区汚水3号幹線系統外災害復旧工事請負契約の締結	賛成全員
承認第1号	専決処分の承認(平成30年度厚真町一般会計補正予算(第16号))	賛成全員
承認第2号	専決処分の承認(平成30年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第6号))	賛成全員
議案第7号	平成30年度厚真町一般会計補正予算(第17号)	賛成全員
議案第8号	平成30年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	賛成全員

定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

第1回定例議会（第1号）平成31年3月11日（月）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第9号	平成30年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護保険事業勘定補正予算（第3号））	賛成全員
議案第10号	平成30年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第7号）	賛成全員
議案第11号	平成30年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第7号）	賛成全員
議案第1号	平成31年度厚真町一般会計予算	予算審査特別委員会へ付託
議案第2号	平成31年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算	
議案第3号	平成31年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第4号	平成31年度厚真町介護保険事業特別会計予算	
議案第5号	平成31年度厚真町簡易水道事業特別会計予算	
議案第6号	平成31年度厚真町公共下水道事業特別会計予算	

第1回定例議会（第2号）平成31年3月12日（火）

議案番号	議 件 名	賛 否
	一般質問のため、議決案件なし（散会）	

第1回定例議会（第3号）平成31年3月19日（火）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	平成31年度厚真町一般会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第2号	平成31年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第3号	平成31年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第4号	平成31年度厚真町介護保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第5号	平成31年度厚真町簡易水道事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第6号	平成31年度厚真町公共下水道事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第22号	平成30年災第352号準用河川チケッペ川災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員
議案第23号	平成30年災第353号普通河川東仁達幌川災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員
議案第24号	平成30年災第452号普通河川本郷の沢川災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員
議案第25号	平成30年災第524号準用河川チケッペ川災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員
議案第26号	平成30年災第531号準用河川ハビウ川災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員
議案第27号	平成30年災第639号町道学園通り線災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員
議案第22号	平成30年災第352号準用河川チケッペ川災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員
議案第23号	平成30年災第353号普通河川東仁達幌川災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員

議会を傍聴しませんか

定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に行われます。臨時会は、審議する案件が緊急のときなど、必要に応じて行われます。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。また、定例会・臨時会とも、議会ホームページで議会の様子を生中継していますので、インターネットでもご覧いただけます。

- 厚真町議会ホームページ <http://www.town.atsuma.lg.jp/gikai/>
- 問い合わせ先 厚真町議会事務局（☎27-2485）



議会のうごき

【1月】

- 6日 厚真消防出初式
- 8日 平成31年あつま新年交礼会
- 10日 北海道胆振東部地震復興特別委員会、議員会総会、議会広報特別委員会
- 11日 交通安全祈願祭
- 13日 第71回厚真町成人式、交通安全合同新年交流会
- 18日 総務文教常任委員会、議会広報特別委員会
- 19日 平成31年浜厚真救難所出初式
- 20日 第12回あつま国際雪上3本引き大会
- 21日 産業建設常任委員会、厚真町商工会新年会
- 23日 厚真町神社仏閣復旧協議会要請来町
- 24日 議会広報特別委員会
- 25日 現金出納例月検査
厚真町老人クラブ連合会新年交流会
- 30日 議会広報特別委員会
厚真町元議会議員親睦会新春懇談会

【2月】

- 1日 第1回臨時会
- 2日 ランタン祭り・スターフェスタ2019 in あつま合同開会式

- 4日 第84回胆振東部市町議会懇談会
- 6日 JAとまこまい広域要望来庁
- 11日 東京厚真会総会
- 15日 北海道胆振東部地震復興特別委員会
- 20日 監査ゼミナール
- 21日 胆振管内町村等監査委員協議会総会
北海道町村等監査委員協議会定例会
- 25日 現金出納例月検査、胆振管内町村議会議長会第2回定期総会、北海道町村議会議長会創立70周年記念式典・祝賀会（～26日）
- 26日 第54回厚真町婦人大会
- 27日 全員協議会
- 28日 石炭専用船「ぴりかもしり丸」初入港記念式典

【3月】

- 6日 議会運営委員会、勇払東部地区国営農業用水再編対策事業促進期成会総会
- 11日 第1回定例会
- 12日 第1回定例会、予算審査特別委員会（～18日）
- 15日 議会広報特別委員会
- 19日 第72回厚真中央小学校卒業証書授与式、上厚真小学校第111回卒業証書授与式、議会運営委員会、第1回定例会、議員協議会、議員会総会
- 22日 安平厚真行政事務組合議会定例会
胆振東部日高西部衛生組合議会定例会
- 25日 胆振東部消防組合議会定例会、現金出納例月検査
- 29日 田舎まつり運営実行委員会総会、厚真町農業再生協議会通常総会、厚真町農業振興協議会

文化活動団体紹介 厚真町囲碁同好会

紹介者 会長：今村 昭一さん

厚真町囲碁同好会は昭和61年に発足し、現在17名の会員で活動しています。

囲碁は、2人で行う盤上ゲームの一種で、交互に盤上に石を置いていき、自分の石で囲んだ領域の広さを争う、誰にでもでき、脳の活性化に有効なゲームです。例会は、毎週月曜日と木曜日の午後から、総合福祉センター2階和室で和気あいあいと開催しています。また、大会は奇数月に年6回開催しています。その他に、近隣町との交流大会も開催し、親睦を深めています。

会員は随時募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

- ◆昭和61年設立
- ◆代表者 今村 昭一さん
- ◆活動日時
毎週月・木曜日 午後
総合福祉センター 2階和室
- ◆連絡先 事務局長 下司 清さん
(☎090-1527-2487)



和気あいあいと盤を囲んでいます。